

地域気候変動適応計画策定マニュアル 「各STEPの紹介」と「計画策定の考え方」

2021年10月13日

国立環境研究所 気候変動適応センター

地域適応計画策定/変更の流れ

地域気候変動適応計画策定マニュアル（2018年11月更新）では、計画策定（変更）の流れを8つのSTEPに分けて説明しています。

 : 主幹部局が中心となって実施

 : 主幹部局と関連部局が実施

各STEPの実施内容		実施時期
【STEP1】 地域気候変動適応計画策定/変更に向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気候変動への適応の方針や目標の検討/見直し ○ 地域適応計画の形式の検討/見直し ○ 計画期間の設定/見直し ○ 基礎情報（地理的条件、社会経済状況等）の整理/更新 ○ 区域の気候・気象（気温や降水量など）の特徴の整理/更新 	地域気候変動適応計画の策定/変更時
【STEP2】 これまでの気候変動影響の整理	これまでに、気候変動や気象現象（高温、大雨等）によって生じたと考えられる影響の事例、および影響の原因となった気象現象を整理	
【STEP3】 将来の気候変動影響の整理	将来想定される気候変動影響の情報を収集・整理	
【STEP4】 影響評価の実施	各分野の気候変動影響について評価を実施し、地方公共団体において優先度の高い分野や項目を特定	
【STEP5】 既存施策の気候変動影響への対応力の整理	地方公共団体における優先度の高い気候変動影響を対象に、それぞれに関連する既存施策の情報を収集し、将来の影響に対する施策の対応力を整理	
【STEP6】 適応策の検討	STEP5で「新規または追加的な施策が必要」とされた気候変動影響に対し、具体的な適応策の情報を収集し、今後の対応を検討	
【STEP7】 適応策の取りまとめと地域気候変動適応計画の策定	STEP1～STEP6で整理した情報を取りまとめ、地域適応計画を策定	
【STEP8】 地域気候変動適応計画の進捗状況の確認	地域適応計画に取りまとめた適応策の実施状況を確認	1～2年ごと

定期的に見直し

分野別気候変動適応策

ここでは、7分野の取組について、現状、影響・課題、施策の方向性として以下の項目について整理している。

分野	項目
農林水産業	農業：水稲、果樹、園芸作物、畜産、病害虫・雑草、農業生産基盤 林業：木材生産、特用林産物、病害虫 水産業：回遊性魚介類、増養殖業等
水環境・水資源	水環境：河川、沿岸域及び閉鎖性海域 水資源：地下水かん養の増大、地下水使用の合理化等
自然生態系	陸域生態系（自然林、野生鳥獣による影響等）、淡水生態系、海岸生態系
自然災害・沿岸域	河川（洪水、内水）、沿岸（海面上昇、高潮・高波）、山地（土石流、地すべり等）
健康	暑熱（熱中症）、感染症
産業・経済活動	製造業・商業等、エネルギー需給、観光業
県民生活	インフラ・ライフライン（水道、道路、交通安全施策等）、その他（暑熱による生活への影響）

地域適応計画策定 演習

分野	対策する項目(なければ空欄)
農林水産業	
水環境・水資源	
自然生態系	
自然災害・沿岸域	
健康	
産業・経済活動	
県民生活	